

実施状況報告

事業名	キャリア教育「わくわくエンジン」
実施主体名	伊予市立中山小学校・伊予市立中山中学校・伊予市立佐礼谷小学校
日時	令和元年 11 月 26 日(火)11 月 27 日(水)
場所	中山地域事務所
参加者	児童生徒・保護者・地域住民

○ ねらい

子どもを取り巻く、学校・家庭・地域、またその他の社会人の連携した関わりを通し、子どもたちが将来の仕事や生き方を考え、本当に大切にしたいことに気付き、主体的に人生を選択して動き出す力を育てる。

○ 活動内容

(1) キャリア教育指導者研修会(大人のわくわくエンジンプログラム)

NPO 法人キーパーソン21から3名の講師を招き、教職員、保護者、地域住民を対象にキャリア教育指導について研修を行った。

- ・ いきなり職業と結びつけない。
- ・ 子どものよさや特長を引き出し、それを活かす方向で職業に結びつける。
- ・ 学校・家庭・地域が連携して進めていくことで「まちづくり」にもつながる。

(2) 授業実践

前日、研修したことをもとに、教職員、保護者、地域住民が支援者になり、キャリア教育「わくわくエンジン」プログラムを児童、生徒の発達段階に応じて行った。

- ・ ワークショップ(すきなもののビンゴゲーム、おしごとマップづくり等)
- ・ 小グループでの話し合い活動(なぜ〇〇が好きなのか、その理由を考え、自分のよさや特長「わくわくすること」をグループで話し合いながら見つけていく。)

○ 全体を通して

サッカーが好き＝サッカー選手と結びつけがちだが、それでは、多くの子どもたちを挫折の結果からの職業探しへと導いてしまう。サッカーが好きな理由も、「作戦を立てることが楽しい。」など様々である。楽しみの源、自分の特長に気付けば、そのことを活かす職業は広がり、選択の中での職業探しとなる。「わくわくエンジン」プログラムは、自己肯定感、有用感につながるとともに、個々の長所を活かした学級、学校経営、または地域づくりにも活かすことができる。今後も学校・家庭・地域が連携したキャリア教育を推進していきたい。



【キャリア教育指導者研修会風景】



【わくわくエンジン授業実践風景】